



たんぽぽぐみだより

2021年5月6日
尚徳福祉会おぐら保育園

新しいクラスでの生活にもすっかり慣れ、子どもたちも「この絵本読んで!」「鉄棒するから見て!」「一緒に鬼決めしよう!」と担任とのやり取りも日々多くなり毎日賑やかに楽しく過ごしています。時計を見ながら片付けや入室の時間に気づく姿や、1枚の塗り絵を数日にも渡って塗って仕上げるなど言葉だけでなく生活や遊びの中にも成長が多く見られます。暖かくなってきたので散歩にも積極的に出かけて戸外で思い切り身体を動かして遊んでいきたいと思ひます。

これつくってみたい!!

今年度のたんぽぽ組で育てる野菜をみんなで野菜の写真を見ながら相談しました。男の子は果物推し、女の子は根菜推しになる結果になり、「イチゴがいい!」「イチゴはイチゴ狩りで食べられるよ?」「カボチャ作ったらハロウィンできるかな」「ゴボウやってみたい!」とそれぞれの意見を話し合っていました。話し合いの結果スイカとゴボウを育てることに決めました。「いつ種まくの?」と早くもワクワクしている様子です。成功しなくても自分たちで選んだ野菜を自分たちで育てることが子どもたちにとって大切な体験になることを願っています。

みんなで決めたルール

部屋にあるブロックを使って作品を作り、それを使ってじっくり遊ぶ様子を見て、「飾り棚」を作りました。でも作品をそのままにしておくのと部品が足りなくなって次の人が作れない…。子どもたちに「どうしたらいいかな」と投げかけると「壊したくない」と言いながらも「じゃあ金曜日の夕方に全部片づけよう」という意見を採用することにしました。最初は「やっぱり壊したくない!」という子もいましたが次第に「また作ればいいんだよね」となり、子どもたちが作ったルールが動き出しています。



～こいのぼり制作～

こいのぼり制作はハサミを使ってこいのぼりのヒレとウロコを切り、自分で貼り合わせて作りました。ハサミを使うので少人数で行いましたが「やりたいやりたい!」と希望が殺到してしまい、給食前や夕方など時間を作って進めることにしました。「まだ私やってないよ」「おやつ食べたあとできる?」と子どもたちのやる気はもちろん、ハサミも上手に使いこなしながら思い思いの色を選び作っていました。

子どもたちが選んだ色の理由などをご家庭で聞いてみるのもいいかもしれませんね。

季節ごとの制作だけでなく、自由あそびの時間にも廃材などを使って自由に制作ができる環境も作っていきたくと思ひます。飾り棚に自由に作った制作が並ぶ日をお楽しみに!

